

## CO2 地下貯留事情



### アブダビで水素発電と CO2 回収・貯留が マスダル計画の重要プロジェクトとして

この 1 月 21～23 日に、アラブ首長国連邦アブダビ首長国で、再生可能エネルギーに関わる国際会議 World Future Energy Summit (WFES) が開催されました。

アブダビ政府からマスダル (Masdar) 計画の実行を委ねられている Abu Dhabi Future Energy (ADFEC) の主催です。

- ・ ADFEC は、アブダビ政府が 100% 出資する投資会社 Mubadala Development の 100% 子会社です。
- ・ マスダル計画は、「再生可能エネルギー、エネルギー利用の効率化、京都議定書のクリーン開発メカニズム (CDM) につながる CO2 回収・貯留 (CCS)、および海水の淡水化等について、高度で革新的な技術の開発、商業化」(2006 年 3 月 15 日、Gulf News) を目指しています。

ADFEC の Sultan Al Jaber 最高経営責任者が WFES での講演のなかで「アブダビは世界最大の発電能力 500 MW の水素発電プラントを建設する」(2008 年 1 月 21 日、Reuters News) ことを明らかにしました。

天然ガスを改質して水素を製造して、これを複合サイクル発電プラントで利用し、改質の際に副生する CO2 を老朽油田まで輸送して注入します。

### BP の技術が

この水素発電には、BP Alternative Energy と鉱業・資源の多国籍グループ Rio Tinto の合併企業 Hydrogen Energy が保有する技術が使われます。

BP Alternative Energy は BP の子会社で、太陽光発電、風力、水素、複合サイクル発電に特化した温暖化ガスの排出が少ない発電事業を行っています。

(Web 公開版)「世界のエネルギーの話題」(2008 年 2 月 1 日)

ADFEC と Hydrogen Energy は、「水素発電プラントおよび CCS の基本設計を共同で実施」(2008 年 1 月 22 日、Middle East Company News)します。

ADFEC は「建設コストは 20 億ドル、2008 年末には基本設計が終了して最終決定される」(2008 年 1 月 16 日、Bloomberg)と説明しています。

## 2007 年 6 月に

ADFEC が、カナダの大手エンジニアリング会社 SNC-Lavalin に、「CO<sub>2</sub> の回収」および「原油の増進回収」の実施可能性調査を委託しています。

「数十億ドルを投資するこの CCS 計画は世界最大の規模で、国家レベルで実施されるのは初めて」(2007 年 6 月 27 日、Reuters News)とされています。

SNC-Lavalin の石油・天然ガス部門の責任者が WFES での講演で「調査は終わりに近づいている。すぐにでも実施できる 4~6 件のプロジェクトを検討している。それぞれ 5 億ドルかかる」(2008 年 1 月 22 日、Reuters News)と語っています。

## ひとこと

BP の前身の BP Amoco の前身の British Petroleum の、さらにその前身の Anglo-Iranian Oil の、そのまた前身の Anglo-Persian Oil が主導する共同事業体 Petroleum Development (Trucial States)が、アブダビの石油利権を手に入れたのは 1939 年です。

75 年間(2014 年まで)の独占的な利権です。

Anglo-Persian Oil は 1909 年に設立され、1914 年に英国政府が株式の 51%を取得しています。

British Petroleum が完全に民営化されたのは 1987 年です。John D. Rockefeller が 1870 年に設立したあの Standard Oil Company of Ohio を買収した年です。

BP のアブダビの油田との関わりは「ゆりかご」から墓場まで続きますね。

(YY)

(Web 公開版)「世界のエネルギーの話題」(2008 年 2 月 1 日)

\*\*\*\*\*

本レポートは、世界の 2,100 以上の新聞、3,700 以上の業界誌、500 以上のニュースワイヤー(速報)/プレスリリース等を検索できるファクティバ(ダウ・ジョーンズ社のデータベースサービス)を利用して入手した多数の記事、レポートを比較、分析して執筆しています。(山崎由廣)